

『ネットワーク支援に必要なアセスメント研修』のご案内

多くの機関や職種が関わるようなネットワーク支援において、現在の支援課題と関係機関の役割を明確にするようなアセスメントは重要であり、その場合には、ケース会議を有効に活用する技術が求められます。日常業務において、「情報を収集・整理する」「それらを解釈・理解し、支援課題を抽出する」「具体的で実現可能性の高い支援方針を立てる」という流れを明確に意識し、簡潔なケースレポートを心がけることもアセスメント力の向上につながるものと思われます。

このたび、『アセスメント技術を高めるハンドブック』の著者でもある近藤 直司先生を講師にお招きして、ケースレポートの方法やケース検討会議の更なる技術向上を目的にアセスメント研修会（講義及び演習）を開催いたします。

日 時：平成 24 年 12 月 15 日（土） 13 時 ～ 17 時 （受付：12 時 30 分～）

会 場：沖縄県総合福祉センター 501 研修室（那覇市首里）

参加対象：・県内専門機関職員（児童相談所、精神保健福祉センター、総合教育センター）
・県障害者等相談支援事業圏域アドバイザー、相談支援専門員 等
（※ 今後、必要に応じて発達障害児者支援体制整備に協力いただける者）

参加費：無 料

申し込み方法：別紙、受講申込書をご記入の上、FAX（098）982-2114 でご送信いただくか、当センターホームページにある専用フォームからも申し込み可能です。

（注）定員の都合上、お申込みいただいても参加いただけない場合がありますので、予めご了承下さい。 ※ 受講をお断りする際は、当センターよりご連絡差し上げます。

申し込み締切日：12 月 7 日（金）

*** プログラム ***

13:00 ～ 14:00	講義「ネットワーク支援に必要なアセスメントについて」
14:00 ～ 14:30	演習：個人ワーク
14:30 ～ 16:00	演習：グループワーク
16:00 ～ 17:00	講義「ケース検討会議の進め方」



※ 上記プログラムはあくまで予定となっておりますので、当日の状況によっては若干の変更が生じる可能性がございます。あらかじめご了承下さい。

こんどう なおじ

講師：近藤 直司 先生

（東京都立小児総合医療センター 児童・思春期精神科部長 / 児童精神科医）

東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科部長。1962 年東京生まれ。東海大学医学部卒。東海大学医学部精神科学教室、神奈川県立精神医療センター 芹香病院、山梨県立精神保健福祉センター 所長（山梨県中央児童相談所副所長を兼任）、山梨県都留児童相談所所長を経て、2012 年より現職。日本思春期青年期精神医学会運営委員、日本児童青年精神医学会評議員、日本精神分析学会認定精神療法医・認定スーパーバイザー。

主な著書に、『ひきこもりケースの理解と援助』（萌文社、1999）、『青年のひきこもり』（岩崎学術出版社、2000）、『ひきこもりケースの家族援助』（金剛出版、2001）、『アセスメント技術を高めるハンドブック』（明石書店、2012）などがある。

【 問合せ先 】

沖縄県発達障がい者支援センター「がじゅま〜る」

TEL：090-8356-0789（研修会問合せ専用ダイヤル）
（098）982-2113

下記は、本研修に関する参考書籍（講師著書）となっています。

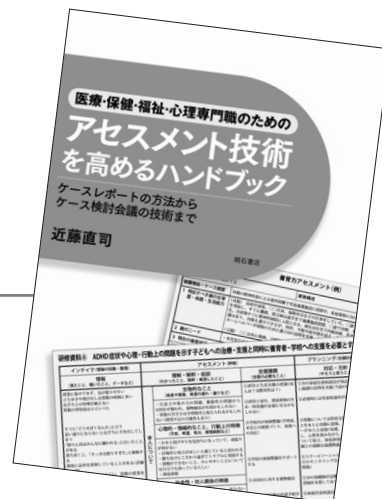
医療・保健・福祉・心理専門職のための アセスメント技術 を高めるハンドブック

——ケースレポートの方法からケース検討会議の技術まで

近藤直司【著】

定価2,100円（本体2,000円+税）

A5判／並製／108頁 ISBN978-4-7503-3593-3



【著者紹介】

近藤 直司（こんどう・なおし）

東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科部長。1962年東京生まれ。東海大学医学部卒。東海大学医学部精神科学教室、神奈川県立精神医療センター芦香病院、山梨県立精神保健福祉センター所長（山梨県中央児童相談所副所長を兼任）、山梨県都留児童相談所所長を経て、2012年より現職。日本思春期青年期精神医学会運営委員、日本児童青年精神医学会理事、日本精神分析学会認定精神療法医・認定スーパーバイザー。

主な著書に、『ひきこもりケースの理解と援助』（共編、萌文社、1999）、『青年のひきこもり——心理社会的背景・治療・援助』（共編、岩崎学術出版社、2000）、『ひきこもりケースの家族援助——相談・治療・予防』（編著、金剛出版、2001）などがある。

【目次】

第1章 ケースレポートについて考える

この研修の前提／どのような状況で、どのようにレポートするかを意識する

第2章 5分間でケースをレポートする

ケースをまとめる／情報—理解・解釈・仮説—対応・方針という枠組み／アセスメントの定義と基本的な枠組み／プランニングの原則／その他

第3章 アセスメントのためのフォーマット

フォーマットの構成／フォーマットを活用した5分レポート

第4章 フォーマットの応用編とその他のフォーマット

子どもをアセスメントするためのフォーマット／アセスメントのためのフォーマット（改訂版）／複数の支援対象者を含むケースに適したフォーマット／アセスメント票（エリア別）

第5章 レポート例とフォーマットの記入例

アセスメント例／支援課題と支援方針

有効な支援をするためにはしっかりとアセスメントができていなければならない——長年、医療・保健・福祉・心理分野の専門職と関わってきた著者が、アセスメント技術を向上させる視点からケースレポートの方法やケース検討会議の技術までを丁寧に解説。

第6章 個人演習

第7章 グループワーク

グループワークの進め方／アセスメント力向上のために／よく出る質問・感想

第8章 有意義なケース検討会議にするために

カリスマ的な助言者に頼る／完成度の高いケースレポート／上手な司会／明確で作業意識の高い質疑・討論／アセスメントと検討課題を固める

第9章 ケース検討会議におけるケースレポートについて

事例にタイトルをつける／最初にポイントを述べる／情報はアセスメントに必要なものに絞る／生物—心理—社会モデルを使う／エピソードは解釈や理解とともに述べる／支援課題を明確にし、具体的な支援方法を考える／15分にまとめる

第10章 「より深くわかる」ための視点

力動的診断／その他、支援に役立つアセスメント

明石書店 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5
TEL.03-5818-1171 FAX.03-5818-1174

ご注文方法

このチラシをご持参の上、最寄りの書店へご注文ください。
直送をご希望の方は、左記電話またはFAXにてお申し込みください。
代金引き替え郵便でお送りします（送料一律300円）。

番線印	医療・保健・福祉・心理専門職のための アセスメント技術を高めるハンドブック ——ケースレポートの方法からケース検討会議の技術まで	定価2,100円（本体2,000円+税） ISBN978-4-7503-3593-3
	(フリガナ) お名前	TEL
	ご住所 〒	
冊	(アパート・マンション名・部屋番号)	

明石書店
TEL 03-5818-1171
FAX 03-5818-1174